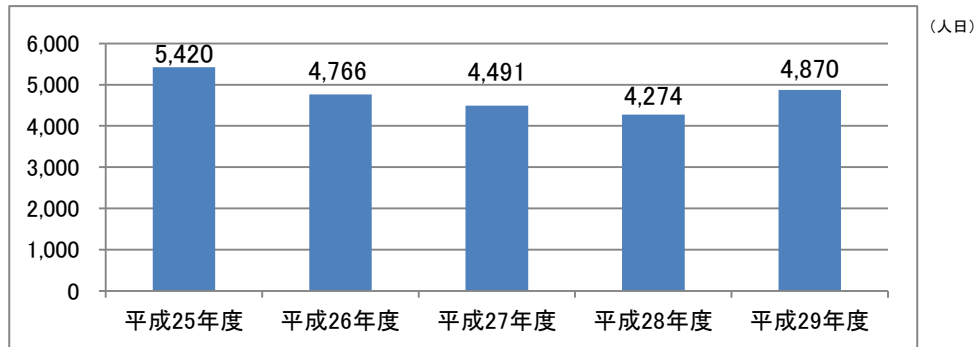


39 看護学生の受入実習学生数(自大学から)

○項目の解説

国立大学附属病院は、看護師を目指す学生の教育に社会的責任を負う必要があります。その看護学生実習に関する教育体制が整っていることを表現する指標です。単に受け入れ人数ではなく、延べ人数(人数×日数)とし、臨地実習に対する貢献の程度を評価します。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

【現状】 医学部看護学科の基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、小児看護学実習Ⅱ、母性看護学実習、精神看護学実習、総合実習、助産学実習を受け入れています。引き続き各部署に学内特別講師を数名配置し、臨地実習の充実を図っています。また、高度実践コースのがん看護学、高齢者看護学の実習を受け入れています。

【今後】 臨地実習施設として、よりよい実習環境の提供ができるように、基礎教育と臨床の連携の強化、実習指導者育成に努めていきます。

○定義

当該年度1年間の保健学科・看護学科等の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。

○算式

人日(人数×日数)